

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 1420

事業名	野外活動協議会補助		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020			項	保健体育費・6項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	保健体育総務費・1目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】			
	施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		野外活動協議会(ボランティア精神旺盛で、野外活動に興味を抱く勤労者)	構成人数(人)	23	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		老若男女を問わず、レクリエーション活動の普及発展、レクリエーションゲーム、キャンプ指導等の野外活動の普及及びリーダー養成を行う。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等)			
		福祉諸団体及び野外活動関係団体等との連携を密にし、指導者として実践活動の場に出向き指導に当る。 ふれあいスキー&スノーボード体験ツアーの実施により、親子(家族)のふれあい及び異世代の人たちとの交流を目的とする。 淡路野外活動協議会の事業実施への参画及び応援参加、各種野外活動イベントの運営に係る企画、立案及び指導助言等。			
	団体の概要	(どのような団体が、活動目的、活動内容など)			
	レクリエーション、野外活動に興味があるものが集まり協議会を形成。 市民のレクリエーション活動の普及発展に寄与することを目的とする。				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 (
				<input type="checkbox"/> 旧町単位 (
				<input type="checkbox"/> 旧村単位 (
	補助金算出根拠	事業経費を積上げ、補助額を決定。			
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町協会を合併し組織化する。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	200	200	160	130
	市野外活動協議会補助金	200	200	160	130
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	200	200	160	130
	人件費(正規職員)[B] (千円)	614	1,495	1,204	753
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	20	50	40	25
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	814	1,695	1,364	883
	「目的」対象一人当り経費 (千円)	35.4	73.7	59.3	38.4
受益者人数(50)1人当り経費(千円)	16.3	33.9	27.3	17.7	
経費に関する 補足説明	平成17年度は、設立のため年度途中の設立				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 小学生向けの行事等、事業の展開を図ろうとしているが、その他団体が実施する行事等が過密している中、新規での実施が難しいため、旧三原町で実施してきた親子ふれあいスキー&スノーボード体験ツアーが主事業である。 その他、キャンプの指導者の養成をめざし、実地研修等を行っている。 また、上部団体の淡路野外活動協議会(社会教育7団体)が実施する事業への参画や各種団体等が行う行事等に運営スタッフとして企画、立案、指導、応援に参画しているのが現状である。	自己評価 (5点評価)
		2
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 近年の社会情勢により、子どもたちが外で遊ぶといったことが少なくなっている。また野外活動やレクリエーション活動する指導者の減少や機会が減少しているが、親子や家族、友達等を対象にした行事等を実施すると多数の参加者があり、ニーズもある。	自己評価 (5点評価)
		2
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 役員、指導者が固定化され、年齢も高齢化している。新たな指導者や役員の育成が必要になってきている。また、手軽に行えるレクリエーション活動、野外活動もあるので、各種団体も手軽に事業として取組んでおり、野外活動としての位置づけも必要になると思われるし、また、行事過多にならないよう各種団体との事業提携、連携など調整する必要がある。 他の同種行事やよく似た団体との統合連携を図る必要がある。(言い換えれば、この事業は、野協でないといけないというものがない。)	
		<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>新たな指導者、役員等養成を図り、組織の世代交代を促進を促す。 同種の行事等の連携、統合を検討する。 柔軟で、誰もが参加しやすい組織への知名度アップを促す。</p>	<p>指導者、役員の育成。 専門職の研修など。</p>
(現状維持以外の改善方法)	<p>ボーイスカウトやレクレーション団体などの組織を統合する。 わんぱく塾や教育委員会直営事業を吸収し、同種事業の統一性を図り、分散している予算を集中することで、今までより少ない予算で実施できる。</p>	
改善によって期待される効果	<p>分散した同種行事の予算集中により、予算軽減。 教育委員会行事との連携性がとれ、情報の一本化。指導者等の確保など。</p>	
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 指導員等が消滅し、いざ野外活動やレクリエーション活動の行事をしたい時に指導者や運営スタッフがいない状態になる。</p>	